

令和4年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森第七中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・身につけた知識を作品制作にいかせるように、試行錯誤や学習の振り返りを通してつくる喜びを感じさせることができた。
- ・発想が広がりやすく手が止まってしまう生徒に対して、ICTを活用し発想の手立てとなる資料や作品を準備することで、発想を広げられるように促すことができた。
- ・見通しをもって取り組み、作品を完成させられるように、単元全体の流れが把握できるようにすることができた。

(2) 課題

- ・身に付けた知識を作品制作にいかせるように、知識と技能を繋げてとらえられるようにする必要がある。
- ・自分の考えや表現に自信が持てるように、様々な作品や表現の良さを感じさせ自信をもって取り組むことができるようにする必要がある。
- ・時間内に作品が完成しない生徒が一定数いるため、自分なりの完成に向けてポイントを絞り主体的に取り組むことができるようにする必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

- ・美術科は効果測定未実施。
- ・全学年を通して意欲的に学習に取り組んでいるが、作品が完成しない生徒が一定数いる。見通しをもって、時間内にポイントを絞って完成させられるようにする必要がある。

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な美術の表現に必要な「知識」の習得にややばらつきがある。 ・実践的な学習活動では、「技能」の観点に差が出てくる生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考・判断・表現」はおおむね満足できる。発想が広がりやすく手が止まってしまう生徒、自分の考えをまとめて表現することに苦手意識を持つ生徒が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組む生徒が多く「主体的に学習に取り組む態度」はおおむね満足できるがややばらつきがある。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な美術の表現に必要な「知識」の習得にややばらつきがある。 ・実践的な学習活動では、「技能」の観点に差が出てくる生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考・判断・表現」はおおむね満足できる。発想が広がりやすく手が止まってしまう生徒、自分の考えをまとめて表現することに苦手意識を持つ生徒が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組む生徒が多く「主体的に学習に取り組む態度」はおおむね満足できるがややばらつきがある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な美術の表現に必要な「知識」は身につけている。 ・実践的な学習活動では、「技能」の観点に差が出てくる生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考・判断・表現」はおおむね満足できる。発想が広がりやすく手が止まってしまふ生徒、自分の考えをまとめて表現することに苦手意識を持つ生徒が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組む生徒が多く「主体的に学習に取り組む態度」はおおむね満足できる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能を表現につなげられるように試す時間をもたせ、材料や道具を繰り返し使うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや表現に自信を持てるように、様々な作品や表現の良さを感じさせ、自分なりの完成ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活と関連させながら美術作品の見方や楽しみ方などを常日頃から指導していく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識・技能が活用できている実感を持たせて、美術のつくる楽しさやできる喜びを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや表現に自信を持てるように、様々な作品や表現の良さを感じさせ、自分なりの完成ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活や美術文化と関連させながら美術作品の見方や楽しみ方などを常日頃から指導していく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の美術文化について取り扱い作品への理解や見方を深め、自身の作品制作にいかせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや表現に自信を持てるように、様々な作品や表現の良さを感じさせ、自分なりの完成ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の生活や美術文化と関連させながら美術作品の見方や楽しみ方などを常日頃から指導していく。